

千葉大学医学部附属病院糖尿病・代謝・内分泌内科を受診し、血清 ALP 値 30 U/L 未満を認めた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年6月26日
糖尿病・代謝・内分泌内科

糖尿病・代謝・内分泌内科では、「成人低ホスファターゼ症（Hypophosphatasia: HPP）患者の頻度、臨床像および治療効果の検討」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2020年4月1日から2025年6月30日までに千葉大学医学部附属病院糖尿病・代謝・内分泌内科を受診し、血清 ALP 値 30 U/L 未満を認めた成人患者の方
なお、そのうち低 ALP 血症を契機として精査が行われ、遺伝子解析等により低ホスファターゼ症（Hypophosphatasia: HPP）と確定診断された患者については、臨床像および治療効果の詳細解析を行います。

1. 研究課題名

【成人低ホスファターゼ症（Hypophosphatasia: HPP）患者の頻度、臨床像および治療効果の検討】

（成人低ホスファターゼ症とは骨や歯の正常な形成に働くアルカリホスファターゼ（Alkaline Phosphatase: ALP）と呼ばれる酵素が遺伝的原因により働きがわるくなり、骨や歯が弱くなる病気です。）

2. 研究期間

2026年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

当院糖尿病・代謝・内分泌内科を受診した血清 ALP 値 30 U/L 未満の低 ALP 血症患者を対象として、成人低ホスファターゼ症（Hypophosphatasia : HPP）の頻度を後ろ向きに検討します。

さらに、そのうち遺伝子解析等により HPP と確定診断された患者について、遺伝学的背景、骨病変および非骨病変を含む臨床像、検査所見、画像所見、QOL ならびにアスフォターゼ アルファ治療効果を解析し、成人 HPP の臨床的特徴および治療反応性に関連する因子を検討します。

（アスフォターゼ アルファとは低ホスファターゼ症に対する酵素補充療法のための皮下に打つ注射薬）

4. 研究に用いる情報の種類

診療録より、患者背景、臨床症状、血液・尿検査結果、ALPL 遺伝子解析結果、画像検査結果、QOL 評価、アスフォターゼ アルファ治療内容および治療経過に関する情報を収集する。

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：糖尿病・代謝・内分泌内科 鈴木 佐和子

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院糖尿病・代謝・内分泌内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>）

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の

発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。
情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

糖尿病・代謝・内分泌内科

医師 鈴木佐和子

043（222）7171 内線 5255